

<b>タイトル (活動概要)</b>	<b>28 なにか好き</b>	<b>アプローチ (関連する力)</b>	「自分づくり」④ 「仲間づくり」⑤ ⑧ ⑮		
<b>タイミング (実施時期)</b>	友達の名前を覚えた頃	<b>活動 場所</b>	教室	<b>所要 時間</b>	25分
<b>対象学年</b>	幼・ <input type="checkbox"/> 小低・ <input type="checkbox"/> 小中・ <input type="checkbox"/> 小高 中1・中2・中3・高	<b>対象 規模</b>	学級	<b>活動 場面</b>	集会
<b>活動の ねらい</b>	<p>&lt;背景&gt;他者の話を聞く力や方法を身につけてない子どもが多い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の話をしっかり聞く</li> <li>・自分と似た好みをもつ友達や自分と違う友達の存在を知り相互理解を深め合う</li> <li>・はっきりと自分の考えを伝える</li> </ul>				
<b>準備</b>	教師の質問に合わせた選択肢を書いた紙				
<b>学習・活動</b>		<b>支援の観点・留意点等</b>		<b>資料等</b>	
1 導入		互いの好きなことをたくさん知り合おう			
2 主活動 ○やり方を知る ①四カ所に掲示してある色の名前カードから自分の好きな色を選び移動する ・集まってきた友達同士で選んだ訳を尋ね合う ②好きな食べ物の書いてある場所に移動する ・①のグループの仲間に、「教えてくれてありがとう」と言い握手をして分かれる		・自分の気持ちにぴったり合わないときには、その中で一番近いと思うところにいくよう助言する ・話合いがスムーズに行かない場合は、教師がどのように話したらいいか見本を示すようにする ・全体の様子を見て次に行く食べ物カードを掲示する ・子どもたちの好きそうな食べ物を書くようにする		選択肢の書いてあるカード	
3 ふり返り		・自分と同じ物が好きな友達がいたことを知ってどんなことを思ったか話し合う			
<b>配慮事項</b>	・色や食べ物等いろいろな質問が考えられるので工夫するとよい ・教室の形を考えて四カ所にしたが、話し合う声が聞こえないような距離を保てれば選択肢は増やしてもよい ・話し合いの様子を観察し、話に参加できない児童に、教師が質問するなどの配慮を行う				

参考；岡田弘ほか「エンカウンターで学校が変わる 小学校編」（図書文化 1996年）